人権だより
あくしゅ
発行者／倉敷市連島南中学校区
人権学習推進委員会
事務局／倉敷市連島南公民館
Tel.086-448-9631
第56号

倉敷市連島南中学校区
人権学習推進委員会啓発テーマ

人権は誰もが もってる たからもの

重点課題
笑顔あふれる私たちの地域
知ることで広げる思いやりの輪

令和５年度 人権学習推進委員会 総会

六月七日（水）、連島南公民館にて人権学習推進委員会総会を開催しました。新型コロナ感染症が縮小していた状況でしたが、自己紹介を委員名簿に代えるなどして時間短縮を図りました。令和四年度の事業報告、決算・監査報告並びに令和五年度の事業計画・予算について審議され承認されました。

今年度も講演会・研修会への積極的な参加をお願いし、推進委員の意識が地域の方々へ広がっていって、連島南中学校区が笑顔あふれる地域になるよう取り組んでいきたいと思います。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

総会終了後には人権啓発ＤＶＤ「私たち一人一人ができること」を視聴して、推進委員等研修会をしました。

■■■■■ ＤＶＤ視聴の感想 ■■■■■

未知の前で冷静でいることができないので差別行動につながるのだと思います。日頃から研修などを通し、（シミュレーションとして）心・頭の準備をすることが大切だと思いました。

弱い立場の人を思いやり人と人をつないでゆく、そんな一助になる活動ができればと思いました。

不安や、自分を守りたいという気持ちが差別につながるのだと感じた。コロナに限らず、他者に対するあたたかな目を大切にしたい。

京都フィールドワークに参加して

逸見　吉惠

京都市内の史跡や施設を巡り、様々な人権課題についての学びを深める趣旨で実施されたフィールドワークに参加、九月三十日から一泊二日の研修の旅に出ました。

最初に訪れた「ウトロ平和祈念館」では、副館長さんからウトロ地区の歴史と祈念館が建設された意味と伝えたいことについての説明を受けました。戦時中「京都飛行場」建設に携わった朝鮮人労働者の飯場がウトロに設置されたことから始まりました。

終戦後、色々な理由で母国に帰国することができなかった彼らはウトロに在日朝鮮人のまちを作っていきました。日本社会から取り残され様々な困難に直面しながらも声をあげ続け、そんな彼らに寄り添ってきた日本・在日・韓国の市民たちが協力して尊厳と生活を守ってきたその歴史の証しが祈念館なのです。

『人権と平和の大切さ、共に生きるということ』をこの地で学びました。

「平等院鳳凰堂」、「醍醐寺三宝殿」では、東山文化を支え庭園を造った「河原者」と呼ばれる「差別された人たち」の功績について説明を受けました。また、「京都学校歴史博物館」では、国に先駆けて学区制を取り入れた京都の学校の歴史を学びました。

二日間、人権を侵害された人々について学んできましたが、祈念館の副館長さんの言われた「生活は良くなったが心理的差別という問題は残っている」という言葉が重く心に刺さっています。差別のない社会を実現するために何ができるか課題を与えられた「京都フィールドワーク」の旅でした。

人権教育講演会　令和５年７月２日

演題
思い合う心
～あなたのこころに届けます
朗読と音楽の贈りもの～

●朗読音楽ユニット Eureka(ユリイカ)
井上　陽子・安本　浩子

ユリイカは、学生時代を共に過ごしたお二人が結成した朗読音楽ユニットです。家族、友達、夫婦、親子…互いに認め合う心、お互いに思い合う心、様々な大切にしたい心。この人間の普遍的なテーマを「泥かぶら」「ラブとお別れ」「ぼくを抱きしめて」などの絵本・エッセイの朗読とピアノ演奏で参加した人たちに届けてくれました。

ピアノの音色に合わせて、透き通った歌声が心を包み込んできて幸せになりました。ピアノのソロ演奏は、心の琴線に触れる音で心を驚づかみにされたり、逆にゆったりと心を温めてくれたりしました。３つの物語の朗読は、私たちが最も大切にしたい、大切にしなければならないものを呼び覚ましてくださり、目頭が熱くなりました。このように様々な大切にしたい「愛（こころ）」を感じ取ることができました。そして、自分も周りの人々も楽しく幸せになれるひと時を過ごすことができました。

参加者の感想

●澄んだ歌声とピアノの音色に癒され幸せのひと時でした。周りの人たちも幸せになれるように頑張って活動していきたいと思います。

●自分が心穏やかに人に優しくすると、それが良い連鎖となってみんなが気持ちよく過ごせる社会になるのでしょうね。まずは、自分の身近な家族から始めてみようと思います。

●朗読・音楽って不思議ですね。映像がないだけその言葉や音から想像するものは、自分の経験で色付けされます。自分の中にある、人とのつながりや、その温かさが思い起こされます。幸せな時間でした。

２館合同研修視察　令和５年８月26日

令和５年度
研修視察

八月二十六日（土）、連島中学校区と合同で人権学習推進委員会の研修視察に行きました。本年度は、ホロコースト記念館と福山市人権平和資料館を訪れました。往路バスの中でＤＶＤ「平和のバトン アンネ・フランクの形見のバラ」を視聴し事前研修を行いました。

ホロコースト記念館では、学芸員さんの説明があったので、収容所の遺品や当時の写真から、ナチスドイツが行ったユダヤ人大虐殺について、より深く学ぶことができました。人権平和資料館では、焼夷弾など当時の実物資料が多く残されており、当時の様子を想起することができました。また、部落の歴史と解放のあゆみを確認するとともに、差別の現実と課題に気付き、人権文化が根付いた社会に向けて今できることをしっかり認識できました。二か所の施設の研修は、戦争の非人間性や残虐性、人間の尊厳そのものについて改めて考える機会となりました。

参加者の感想

●ホロコースト記念館では熱意あふれる丁寧な解説もあり、人の「尊厳」の尊さを再認識。人類がお互いの尊厳を守ろうとする気持ちがあれば、争い、戦争は起きないのではないか。戦争中の国、戦争に向かっている国はそれに気付いてほしい。

●人権について、平和について考えるうえで事実を知り教訓を得ることは大切なことだが事実から感じるものが人それぞれのため、どのように受け止め次に活かすか、しっかりと考え共通の思いで伝えることが大切だと思いました。

令和５年度 倉敷市人権ポスター

みなさんの素晴らしい作品は
観る人のこころを癒やすでしょう。

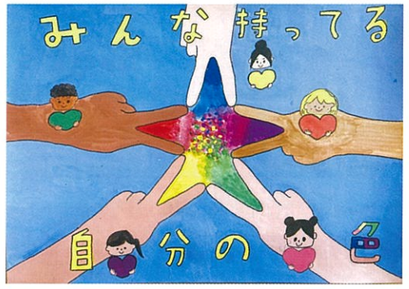
連島南小５年　夏川　志乃

連島南小２年　光好　紀菜

連島南小５年　安田　乙嬉

連島南中３年　荒川　凛心

連島南小２年　東郷　侑奈



連島南中２年　大工園　こはく

連島南中３年　仁科　友花

連島南中２年　渡辺　琴絵

連島南人権ふれあい交流会

「味噌づくり＆人権啓発 DVD 上映会」を開催します。

事前申し込みが必要です。
詳しくは連島南公民館まで
お問合せください。
TEL 448-9631

要予約

開催日時　令和６年２月17日(土)
13：00～15：30

令和5年度 人権啓発ポスター・標語

連島南小学校・連島南中学校の児童・生徒の皆さんのすばらしい作品を寄せて頂きました。

連島南中学校

連島南中1年　中山　諒美

連島南中1年　深井　涼太

連島南中1年　渡辺　朱莉

連島南中１年　西原　彩芭

連島南中１年　小川　瑠奈

連島南中３年　三津川　月雫

連島南小学校

連島南小２年　中村　百花

連島南小４年　佐立　千夏

連島南小６年　大森　愛佳

展示期間：11月4日（土）～12/10（日）

連島南中学校

人権は
生まれた　その日の
おくり物

連島南中学校１年　渡邊　初音

個の意見
尊重しよう
最後まで

連島南中学校２年　池田　茉央

認めよう
みんなの個性
多様性

連島南中学校３年　永山　幹久

連島南小学校

連島南小学校6年　四谷　知彩
「ふつうにしてて。」と
君のふつうを
押しつけないで
四谷　知彩

連島南小学校5年　岡野　聖奈
いじめない
たのしいクラス
これがいい
岡野　聖奈

連島南小学校5年　安田　乙嬉
友達の
大切な意見
受け止めよう
安田　乙嬉

連島南小学校4年　松田　夏優
一人じゃないよ
かいけつしよう
みんなでね。
まつ田　なゆ

連島南小学校2年　森岡　愛理
「さよーなら。」
またあしたも会いたくなる
すてきなことば
森岡　愛理

連島南小学校1年　松田　葵桜生
おはようと
みんなとなかよし
ハイタッチ
ーねんらくみまつだあおいー

連島南小学校かがやき学級　小山　和也
大丈夫
ちゃんと相談してみよう
小山　和也